

好奇心のトビラ通信

ファッション編

CONTACT

美祢市公設塾mineto

Tel 0837-53-0311

kousetsujuku.mineto@gmail.com

いつもお世話になっております。
公設塾minetoです。毎週水曜日に行われている好奇心のトビラ授業の様子を、テーマごとにお送りしていきます！
今回はファッション編での学びや生徒の様子をお届けします。

ファッション編の授業内容

「オシャレ」以外のファッションの意味を探究

毎週水曜日の好奇心のトビラ授業は、「ファッション編」を実施しました。「ファッション＝オシャレ」だけではなく、デザイナーという職業の誕生、現在のファッションになるまでの変遷、服が作られる過程で今何が起きているのか、などを学びました。授業の中では、オリジナルシューズのデザインをしたり、思い入れのあるファッションを紹介し合ったりと、学んだことを実際に表現するワークショップも織り交ぜて実施しました。

“人生の達人”の回では、慶應義塾大学総合政策学部4年（現在休学中）の村上采さんをゲストにお迎えしました。村上さんは高校や大学の留学経験を経て、ファッション業界に問題意識をもち、群馬県伊勢崎市でファッションブランド「Ay」を立ち上げます。地元の文化と向き合い、群馬県の伊勢崎市周辺で生産されてきた「伊勢崎銘仙」が長く愛されてきた理由を解きほぐし、新しい価値を添えて発信したい。そんな村上さんの思いに触れ、山口県や美祢市の文化と今一度向き合いました。また、服を作る際に余る切れ端を使って、マスクケースを作製。捨てられるはずであったものに、新しい価値を与えて再利用する「アップサイクル」という考え方を体験しました。

人生の達人の回では、現在は生産されていない着物である伊勢崎銘仙の生地を使って、マスクケースを作製しました！



気づき/学び 生徒が授業後に書いた感想を一部抜粋

授業後には、毎回感想や振り返りを記入します。
生徒の感想や気づきの一部をご紹介します！

普段使いのため大量に作られている銘仙をつかって、今どきのファッションにしたというのが驚きでした。自分が伝えたいことを自由に伝えられるのがファッションだと思いました。



昔の伝統を他の人にも伝えるために、その伝統をどうしたらもっと他の人に伝えられるだろうと考えてずっと続けてやっていたことがすごいと思った。



シャネルが世界のファッションを変えてとてもすごいと思いました。僕も世界の当たり前のことを、当たり前じゃないものに変えられるのかなあと考えました。



バン格拉ディッシュの人達が服は私達の血から出来ている、と言っているところが印象に残った。服を作るのにいろいろな産業の努力から出来ているので服を大切に着たいと思った。



服一枚に、沢山の人が関わっていて、服ができるまで、たくさんの過程があること、安い服を作っている裏では、命がけて働いている人がいることが印象に残った。



今後のスケジュール

- 6/8 : アート編 第一回授業
- 6/15、22 : アート編 第二回授業
- 6/29 : アート編 人生の達人回
- 7/6 : アート編 第三回授業

※定期考査を考慮し、6/15、22は同内容を実施します。

◎次のテーマは「アート」

「アートってよくわからない」「そもそも美術館に行ったことがない」そんな人も多いのではないのでしょうか。

第一回授業では、絵画の歴史を紹介。いかにリアルに描くかを追求してきた中で、カメラの登場により、絵画の価値は大きく変化していきます。第二、三回の授業では、様々なアーティストにスポットライトを当て、その人生を深掘りしていきます！

“人生の達人”の回では、ドイツを拠点に活動されている日本人アーティストをお招きします！